

遺伝性乳がん卵巣がん（Hereditary Breast and Ovarian Cancer：HBOC）の 疑いのある患者さんに遺伝カウンセリングと BRCA1/2 遺伝子検査を実施しています

遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）は、BRCA1 または BRCA2 遺伝子の生殖細胞系列の病的な変異が原因で乳がんや卵巣がんを高い頻度で発症する遺伝性腫瘍の 1 つです。

この体質は 50%の確率で性別に関係なく遺伝します。（男性の乳がんおよび前立腺がんも発症し易くなります）婦人科がんの中で、卵巣がんはその 70%が再発するもっとも予後不良な疾患で、卵巣がんに対する有効な検診方法はいまだ確立していません（突然発症し、進行がんで発見されます）。

すべての卵巣がん患者さんのうち 10%は HBOC とされています。未発症の HBOC の方に対してはリスク低減卵管卵巣摘出術（Risk Reducing Salpingo-Oophorectomy：RRSO）が現在のところ最も確実な卵巣がんの予防策とされています。HBOC と診断されましたら最適な検診および治療方法をご相談・ご提案できます。

当科では院内倫理審査委員会の承認を得て 2015 年 10 月より遺伝外来を設置、HBOC のカウンセリング診療を行っています（自由診療となります、初回 1 時間 8,000 円+消費税）。十分なカウンセリングののち、検査を希望される方には BRCA1/2 遺伝子検査（自費、約 24 万円）を実施しています。

遺伝カウンセリングおよび BRCA1/2 遺伝子検査の詳細については、産婦人科外来までお問い合わせください。

2018 年 3 月
産婦人科 金森 康展
月原 悟